

平成30年度 11月号



学校 だより

横浜市立今宿小学校

＜今宿小学校学校教育目標＞

- 一人ひとりのよさを生かし、基礎基本の身についた子を育てます。
- 社会のルールを守り、豊かな人間関係を築ける子を育てます。
- 命のすばらしさや大切さを知り、心身の健康を自ら増進する子を育てます。
- 様々なふれあい活動を通して、お互いを認め合い共に生きる喜びを味わえる子を育てます。
- 様々な体験活動を通して、社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

「体験と仲間とのふれあいを通して」

校長 伊藤 和義

学校は10月9日に後期始業式を行い本年度も折り返しを過ぎたところです。

7月号の学校だよりから、少しずつ本校の教育の柱や教育の特徴を紹介させていただいています。本校では11月中旬旬までの間にさまざまな校外学習を実施しています。さかのぼると6年生は7月に日光へ修学旅行に行ってきました。5年生は9月に御殿場へ宿泊体験学習に行きました。そしてこの10月末には区の行事としてですが、個別支援学級も三浦合同宿泊学習に行きました。11月には、4年生は愛川ふれあいの村へ宿泊体験学習に行きます。その他1・2・3年生もそれぞれ校外学習に出かけています。

これらの体験活動は、本校の教育活動の柱となっています。学校生活では体験できないことを校外に出かけて直接体験することで、自然や文化などの素晴らしさをあらためて肌で感じるとともに、学校という枠を越えてさまざまな課題に対して積極的に自分や自分達で解決できるような力を育成しようとするものです。楽しい体験活動を通して、その先に大きな目指すべき目標があるのです。

そして、11月2日には、全校遠足で四季の森公園に行きます。これは、1年生から6年生までの全校児童がふれあい班（縦わり班）に分かれての異学年によるふれあい交流活動の行事です。ふれあい班による事前活動として朝の時間や中休みに児童が主催するふれあい集会を行ったり、ふれあい班ごとに各教室に集まって給食を一緒に食べるふれあい給食を実施したりしているところです。これらの事前活動を踏まえて親睦と協力体制を築いた上で遠足に出かけます。はじめての1年生にとってはちょっと長い距離を歩く遠足です。でも5、6年生に時には手を引かれながら皆がんばって歩きます。そうされていた1年生も年の経過とともに今度は下級生の手を引いてあげることとなります。そんな光景が毎年見受けられます。異学年で構成される班で協力して活動し、お互いを認め合うことにより思いやりの心を育み、社会で協働していく力を継続的に育成しようとしています。これからも体験活動やふれあい活動を教育の柱として本校児童の健全な育成を進めていきたいと思っています。



今後も引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。

全校遠足事前活動より